

開会の挨拶

藤縄 昭

(国立精神・神経センター精神保健研究所)

本日は、このように大勢の方が集まっていただきました。また、御来賓の先生方にもご多忙の中を御参会下さり厚く御礼を申し上げます。第1回のフォーラムは新しい精神保健法の施行を目前に控えて、1988年2月に京都で「精神医療の抜本的改革に向けて」というテーマで開催されました。今回は2年後にこの法の見直しという課題を控えて、精神医療は変わったか、私達は変わったか、精神医療改革と精神医療見直しへの提言というテーマで構想されたフォーラムでございます。

私達年配の者にとりましては、フォーラムという言葉はなじんでおりませんので、辞書に当たってみました。すると、フォーラムというのは古代ローマ帝国の都市の中央にあった大広場で商業取引の場、又は裁判・政治等の公の事どもを論ずる集会所として用いられた場所という意味だそうです。そこから世論の批判という意味が発生してきて、さらに社会的に興味深い問題を取り上げる公開討論会という意味が生まれたようであります。そういうフォーラムに取引をする、或は批判する、裁くといった意味合いが原義にあるという事を心得ました上で、本フォーラムが我が国の精神医療の未来を思い、長期的な将来への展望を持った議論が重ねられまして、実りのある提言が出来ますように願って止みません。以上簡単ながら開会の御挨拶に致します。